

第 3 号様式

(第 1 面)

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号231-0007

住所神奈川県横浜市中区弁天通6-85

氏名株式会社宇徳

代表取締役社長 外園 賢治

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

印

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第 1 0 条第 1 項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社宇徳		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎市川崎区東扇島30-3		
該当する事業 者の要件	☒ 規則第 4 条第 1 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 2 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 3 号該当事業者		
	☐ 規則第 4 条第 4 号該当事業者		
	☐ 上記以外の事業者（任意提出事業者）		
主たる事業 の種類	大分類	H	運輸業、郵便業
	中分類	48	運輸に附帯するサービス業
主たる事業 の内容	港湾運送事業、倉庫業、通関業、建設業		
事業者の規模	☒ 原油換算エネルギー使用量		1,933 k l
	☐ 自動車の台数		台
	☐ エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t -CO ₂
連絡先	担当部署	担当部署名	施設部 施設管理チーム
		所在地	横浜市鶴見区大黒ふ頭 8
	電話番号		045-501-3955
	F A X 番号		045-508-3876
	メールアドレス		0

※受付欄		※特記事項	※事業者番号	

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成22年度 ～ 平成24年度 (報告年度 平成24年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備考	

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名（法人にあっては、その代表者）を記載し、押印することに代えて、本人（法人にあっては、その代表者）が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況（第1号、第2号、第4号該当者等）

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況（排出係数固定）

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 3,245 (調) 2,577 t-CO ₂	(実) 3,465 (調) 2,752 t-CO ₂	(実) 3,219 (調) 2,556 t-CO ₂	(実) 3,141 (調) 2,495 t-CO ₂	(実) 3,148 (調) t-CO ₂
削減率		(実) -6.8 (調) -6.8 %	(実) 0.8 (調) 0.8 %	(実) 3.2 (調) 3.2 %	(実) 3.0 (調) %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	排出量／延床面積22,032		単位	t-co2/m2	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量 原単位等の値	0.1473	0.1573	0.1461	0.1426	0.1429
削減率		-6.8 %	0.8 %	3.2 %	3.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	全棟貸しのため、排出量は全てテナントの事業活動によるもの。 冷蔵倉庫であるため、猛暑の影響で電力消費量が大きくなったと考えられる。 ただし、電力会社の排出係数が改善したため、係数反映による排出量は2%減少した。
第2年度	全棟貸しのため、排出量は全てテナントの事業活動によるもの。 省エネ・節電対策等により、排出量は0.8%減少した。
第3年度	全棟貸しのため、排出量は全てテナントの事業活動によるもの。 テナントへ省エネ・節電対策の指導を継続した結果、排出量、原単位ともに3.2%減少し、目標数値を達成した。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況（全社目標）

目標は排出量原単位（t-co2/売上高・百万円）を年平均1%削減。 全社では主に節電対策等の結果、エネルギー消費量自体は減少したが、 原単位算出に関わる値である売上高がそれを上回る割合で減少したため、 排出量原単位は0.2691と前年に比べ5%ほど増加した。
--

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等)	計 画	(全棟貸しの事業所であるため、テナントと相談して実施できる項目から実施) ○変圧器等の適正管理…変圧器の効率向上。 ○受電端力率の管理…進相コンデンサの適正運転。 ○照明設備の運用管理…節電型ランプへの交換。
	第 1 年度	テナントと設備の管理委託先との間で、設備の運用改善の方法につき協議いただいている。
	第 2 年度	テナントと設備の管理委託先との間で、設備の運用改善の方法につき協議いただいている。
	第 3 年度	テナントと設備の管理委託先との間で、設備の運用改善の方法につき協議いただいている。
自動車等 (第 3 号該当者等)	計 画	
	第 1 年度	
	第 2 年度	
	第 3 年度	

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

[illegible]

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	廃棄物の削減・分別の推進を図る。
第1年度	テナントにより、事業活動で発生した廃棄物の分別と削減推進を継続実施している。
第2年度	テナントにより、事業活動で発生した廃棄物の分別と削減推進を継続実施している。
第3年度	テナントにより、事業活動で発生した廃棄物の分別と削減推進を継続実施している。

様式第 2 号

(第 6 面)

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第 1 号、第 2 号、第 4 号該当者等

(実)	3,487	t-CO ₂
(調)	3,479	

イ 第 3 号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第 1 号、第 2 号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が 1,500kl 以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
東扇島冷蔵倉庫	川崎市川崎区東扇島30-3	4721	冷蔵倉庫業	3,487 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 以上 1,500kl 未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で 500kl 未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第 4 号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が 3,000 t 未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--